

厚生文教委員会会議録

1. 開催年月日

令和7年 6月24日 開会 10時00分 閉会 11時33分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

沖 久 教 人	多 賀 信 祥	松 本 周 平	多 賀 紀代子
木 尾 容 子	西 村 慎次郎	荒 木 謙 二	西 田 久 志
佐 藤 豊			

4. 欠席委員名

な し

5. その他の会議出席者

(1) 議 長 山 下 憲 雄

(2) 委員外議員 な し

(3) 説明員

副 市 長	猪 原 慎太郎	市民生活部長	久 安 伸 明
健康福祉部長	片 山 恭 一	病院事務部長	津 組 勇一郎
市民生活部次長	朝 原 博 幸	健康福祉部次長	中 山 浩 一
市 民 課 長	藤 田 昌 巳	市民活動推進課長	岩 本 陽 子
芳 井 支 所 長	中 新 純 史	美 星 支 所 長	山 本 勝 巳
子育て支援課長	大 塚 建	介護保険課長	森 川 正 康
健康医療課長	西 本 訓 子	病院総務課長	松 山 昌 史
病院医事課長	吉 田 真 介	健康福祉部参事	川 上 益 史
甲南保育園長	阪 谷 佳 美	芳井保育園長	三 宅 弘 美
福祉課長補佐	川 合 進	市民課戸籍住民係長	藤 井 宏 美
教 育 長	森 川 孝 一	教 育 次 長	西 村 直 樹
教育委員会参与	高 田 知 樹	教育総務課長	岡 崎 直 子
学校教育課長	米 本 大 樹	生涯学習課長	田 中 稔
平櫛田中美術館課長	青 木 寛 明	学校給食センター所長	傍 田 晃 士
学校教育課兼生涯学習課参事	藤 井 剛	教育総務課長補佐	唐 木 雅 之

(4) 事務局職員

事務局 長 岡崎 祐一 次 長 藤井 隆史
主任 主事 谷井 一裕

6. 傍聴者

- (1) 議員 柳本益裕、坊野公治
- (2) 一般 0名
- (3) 報道 2名

7. 発言の概要

委員長（沖久教人君） ただいまから厚生文教委員会を開会いたします。

初めに、副市長の御挨拶をお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さんおはようございます。

6月も下旬を迎えております。今週は一転して雨模様ということでございます。昨夜は、新見市におきまして記録的短時間大雨情報というものが発令をされております。時間雨量が約100ミリとも言われておりまして、いつどこで激しい雨が発生してもおかしくないということを改めて実感をしたところでございます。これからどんどん湿度が高くなってきまして、本当過ぎにくくて体調を維持することが大変難しい時期を迎えることとなりますけれども、委員の皆様方におかれましては、くれぐれもお体を御自愛いただきたいと思っております。

今日は厚生文教委員会ということで、この委員会関係の今年度の主なハード事業としましては、昨日工事請負契約締結の議決をいただきました井原体育館の空調設備導入の工事がございます。地中熱を活用した空調設備ということで、国の補助をいただきながらの工事となります。それこそ地中熱、要は土の中なんですけれども、少し具体的に言いますと、体育館の北側の駐車場に100メートルの深さのくいを41本打ち込みます。100メートルと言いますと、この庁舎の高さが約25メートルと聞いておりますので、この庁舎の高さの4倍の深さのくいを打ち込むといったことで、大変な大規模工事を伴うということでございます。太陽光パネルは108枚設置をいたしますし、エアコン取付けの場所ですけれども、アリーナと格技場に設置するんですけれども、アリーナにつきましては客席がございしますが、客席の上部の天井部分に16台の天つり型の空調機を設置する予定としておりまして、格技場におきましては、格技場の天井に埋め込み式の空調機を4台設置するというところでございます。これとは別にキュービクルという受電施設が当然必要になるんですけれども、これにつきましては体育館の南側の駐車場に新設するといったところでございます。本当に大規模な工事でありますので、本当もうくれぐれも資材単価、建築資材の高騰に左右されることなく無事に工事が終わることを心から祈っているところであります。

この工事とは別になるんですけれども、井原体育館のトイレの改修も予定をしております、具体的に言いますと、要は和式の便器を洋式に換えるといったことと、ドライ方式といひまして、床、例えば今はバレーボールをしてる人がトイレに行こうとすると、一旦体育館シューズを脱いでスリッパに履き替えてトイレに入るんですけれども、そうでなくて、もうそのまま入れるようなドライ方式といったトイレに改修する予定にしております。それから、併せてカーテン、電動カーテンがちょっと故障したりしている関係がありまして、カーテンの改修工事、手動に切り替える、そういった工事も併せて行いますし、それから外壁も部分的な改修をする予定にしております、今現在発注に向けての準備作業に取りかかっているところでありまして、今年度中の完成を目指してこれから取り組んでいくというところでございます。

そういった中、本日は厚生文教委員会を開催をいただきました。皆様方におかれましては何かと御多用の中、お繰り合わせ御出席をいただきまして大変ありがとうございます。

この委員会に付託されております案件でございますが、条例案件が1件ということでございます。

なお、会議システムに本定例会報告事項を登録しております。後ほどお目通しをお願いしたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

〈議長挨拶〉

〈議案第57号井原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について〉

委員（多賀紀代子君） 昨日も説明があったと思いますが、この井原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する件について、まず1点目、この病床数のことをお話しされたと思うんですけれども、今回150床から139床に減らすとのことなんですけれども、その根拠について教えてください。

病院総務課長（松山昌史君） 150床から139床に削減する根拠なんですけど、今の将来的な患者数は高齢者も含めてこれ以上減少が見込まれるというところの中で、今の病院の経営も厳しさを増す中でより一層の経営効率化が求められるということで、病床機能と病床数の適正化を図る、スリム化するものであります。

委員（多賀紀代子君） ありがとうございます。

そういった中で、ちょっと病院の資料、それから私たち新人は研修資料として病院事業についての資料を頂戴してるんですけれども、この稼働病床数が、令和2年までが135床で

令和3年度から現在が150床、今回またそこから139床に2度ほど病床数は減らすということなんですけれども、来年度以降、場合によってはその計画も出てくるかもしれませんが、そういったことはお考えになられているのでしょうか、お答えできる範囲で結構ですので、よろしくお願いします。

病院総務課長（松山昌史君） 令和2年度135床にというのは、稼働病床数ということ。（2番 多賀紀代子君「そうですね、はいはい。」と呼ぶ）許可病床数はその当時も180床だったということです。コロナがあって150床に稼働病床数を減したことによって、令和6年度から許可病床数は150床に削減したということになってます。135床とか150床のときでも、実際入院されてる患者さんが今の139を超えたことはないっていうことなので、139床に削減しても問題ないと考えています。今後については、当面削減する予定は今のところ持ち合わせていません。

委員（多賀紀代子君） ありがとうございます。

委員（松本周平君） この件に関してなんですけれども、この病院の病床数の稼働率の目標の数値というのはあるんですか。ちょっとこちらで計算させてもらうと、去年の実質の患者さんに対して今回のこの削減された病床数で計算を当てはめてみたら、82.37%という数字が出ております。恐らく80%を狙ってってということなのかなというふうに解釈しているんですけれども、その辺お答えいただけますでしょうか。

病院総務課長（松山昌史君） 稼働率の目標というものは特には持ってないんですけど、先ほど言われましたように80%とか75%以上を稼働していないと収益的にも厳しいというのはありますので、特に何%という目標は持ってない。

委員（松本周平君） ありがとうございます。

目標の数値はないということなんですけれども、今後その数値が大幅に下がってくるっていう可能性もゼロではないとは思われますが、その場合、もし急激に稼働率が下がったりした場合は、またそういった検討はなされるというような方向で、認識大丈夫ですか。

病院総務課長（松山昌史君） 急激に稼働率が低下した場合は、またそのとき、そういうことがあればまた検討をする機会にはなと思います。

委員（松本周平君） ありがとうございます。

その場合、有事等の対応にも全く差し支えがないということで、今回の病床数の策定ということでも大丈夫ですかね。

病院総務課長（松山昌史君） 今回の削減に当たって、前回コロナ禍のときに一番井原市内で最もコロナが発生したのが令和4年12月頃だったと思うんですけど、そのときでも井原市民病院の入院患者数は、コロナの入院患者数は15人でした。それから各都道府県の中

で重点医療機関とかつていうのが増えてきたというところの中で、今回削減しても新興感染症の対応は十分できると考えています。

委員（松本周平君） ありがとうございます。

委員（木尾容子君） すみません、質問が重なりますが、病床を減らすことでのメリットとか、これが市民のためになるんでしょうか。それから、コロナ禍で大変な思いをされたと思うんですが、一旦減らした病床を、また困った事態が起きたからといって元に戻すことが簡単にできるんでしょうか。病床削減ありきではなく、地域医療を守るための支援こそ必要ではないかと思います。

 以上です。

委員長（沖久教人君） 木尾委員、質問でよろしいでしょうか。

委員（木尾容子君） 今、今質問、質問で、質問は病床を減らすことでのメリットと、それからそれは市民のためになるかということをお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

委員長（沖久教人君） 質問内容は、メリットと増やすことが簡単にできるのかどうかという、この2点の質問でよろしいでしょうか。

委員（木尾容子君） はい、そうです。失礼しました。

病院総務課長（松山昌史君） メリットですけど、2つあると思ってます。経営改善のことと療養環境改善というメリットがあると思います。1つ、経営改善においては、先ほども言ったスリム化することによってベッドの数とか、あとナースコールとかの設備や清掃業務がちょっと少なくなるということで、その辺の費用削減が見込まれます。あと収入確保については、特別交付税の不採算地区病院の要件に該当することから、年間2,940万円の財源の確保が見込まれます。

 あと療養環境についてですけど、病床を削減したことによってそれを後使うのに患者ニーズの高い個室を整備することや外来化学療法室などに変えることによって、医療サービスのさらなる向上が期待されるというところなんです。あと削減したものをすぐ戻せるかっていうところなんですけど、これ県の地域構想会議の中で諮って対応してるので、ちょっとすぐには答えられないところです。

委員長（沖久教人君） 木尾委員、よろしいでしょうか。

委員（木尾容子君） はい。

委員（西村慎次郎君） 今先ほどの答弁の中で、病院の経営改善が行われるということで支出の削減、あと収益も補正で上がってますけども、具体的に幾らぐらい経営改善が行われるとかという試算はされてますか。

病院総務課長（松山昌史君） 病院の清掃業務委託とナースコールとかベッドの減価償却費等々を計算して、約２７０万円ぐらいの削減が見込まれると思われます。

委員（西村慎次郎君） 毎年、年間の経費が削減ということで。

病院総務課長（松山昌史君） 年間の経費です。

委員（西村慎次郎君） ありがとうございます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（沖久教人君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事務調査〉

委員長（沖久教人君） 本日の所管事務調査事項はございません。

不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきものと思われる提案がございましたら御発言願います。

〈なし〉

委員長（沖久教人君） ないようでございますので、本件については終わります。

ここで執行部の方には御退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、慎重に御審議をいただきまして大変ありがとうございます。

今議会を通じましていただいております様々な御意見、御要望、御提言につきましては、今後の市政に反映をしていきたいと思っております。本日は大変ありがとうございました。

委員長（沖久教人君） 執行部の皆さんには大変御苦労さまでした。

〈休憩中、執行部退席〉

〈閉会中の継続調査について〉

委員長（沖久教人君） 突発的な事件や行政視察に対応できるよう、閉会中も継続して調査を行えるよう、別紙のとおり所管事務調査事項を決定し、同様の内容で閉会中の継続調査申出書を議長に提出したいと思います。

〈異議なし〉

〈議会への提案について〉

〈提案 1 件について、正副委員長案を作成し次回協議することに決定。〉

〈その他〉

〈各委員から委員会で調査を希望するテーマについて意見を聴取、次回委員会で視察先を含め協議することとした。〉

〈なし〉

〈議長挨拶〉

委員長（沖久教人君） 以上で厚生文教委員会を閉会いたします。